

(別紙5)

整理番号 2024P-022
補助事業名 2024年度自転車競技の普及促進及び競技力の向上に資する事業補助事業
補助事業者名 一般財団法人日本自転車普及協会

1 補助事業の概要

(1) 事業の目的

本大会の開催により国内における自転車競技の普及促進、認知拡大を図るとともに開催地域の活性化を目指す。

ツアー・オブ・ジャパンは、国際自転車競技連合（以下「UCI」）公認の国内最大規模・最長期間で開催するステージロードレースである。アジアでもハイレベルな起伏に富んだコース設定となっており、出場する国内外選手にとって研鑽の場となるため、国内選手の競技力向上、世界への登竜門となる大会として継続開催することを目的とする。

また、本大会をサイクルツーリズムによる観光資源として活用し、開催地の地域創生・町興しの一助とする。

さらに、本大会関係者による他の新規自転車イベント等へのノウハウ・情報提供、協力等を今後も実施し、国内の自転車競技・レース文化の定着と醸成を目的とする。

(2) 実施内容

●ツアー・オブ・ジャパン東京ステージ開催、ツアー・オブ・ジャパン広報

(<https://toj.co.jp/2024/>)

国内における自転車スポーツの振興を図ることを目的に、国際自転車競技連合（以下「UCI」）公認のステージレース「Tour of Japan 2024(以下「TOJ」)」を開催した。

今年度も国内外の強豪チームを16チーム招聘し、8日間8ステージを8都府県で開催した。

【東京ステージ開催】

競技中の安全対策として、新たにレース中のコース上や沿道に対する安全確保・誘導等を行うバイクであるエスコートモトを2台導入したほか、レースの先頭を走る競技車両にスピーカーを搭載し、コース沿道や周辺エリアに向けて注意喚起を行った。その結果、競技をスムーズに進行し、事故やトラブルなく大会を安全に終了することができた。

また、TOJキッズの取り組みを再開した。開催会場や開催地で子供向け自転車教室を実施したほか、各ステージの表彰時にプレゼンターとして子供たちに登壇してもらい、地域交流を図った。

【広報】

本会のYouTubeチャンネルである「BPAJチャンネル」でレースライブ配信を無料で実施。近年、スポーツイベントのペーパービュー化や、地上波放送の減少により、課金制度でのスポーツ視聴が当たり前になってきているが、諸物価高騰など限られた予算の中で、残距離、集団と集団等のタイム差表示など番組制作を行い、視聴者

(別紙5)

のニーズに答えることが出来た。また、速報性の高い広報は、公正、透明性の高いレース運営の一助となっている。



【東京】自転車安全啓発の為、警視庁などと連携し、レース前に安全啓発パレードを実施。



【東京】レース終了後 表彰式を行う。



【東京】で勝利を挙げたマッテオ・マルチェッリ選手 (JCL TEAM UKYO)。



【広報】ライブ配信バイクより、クリアで鮮明なライブ映像が撮影され提供されている。



【広報】各会場では大型映像モニターを設置。ライブ配信映像を会場で確認することが出来る。



【広報】東京ステージは、タイヤ差での決着となった。視認で確認出来ず、着順判定業者のカメラにより判定された。

2 予想される事業実施効果

T0Jは、昨年より大会として世界の自転車ロードレースで活躍できる次世代の選手発掘・育成・強化を目的としたプロジェクト「ロード・トゥ・ラヴニール (ROAD TO L' AVENIR、以下「RTA）」」の主旨に賛同し、提携をスタートした。これを受け、T0Jを通じて自転車競技の魅力を伝え、日本各地の若い才能を発掘し、世界に通用する人材育成に寄与すべく、若手選手が所属するクラブチームや大学チームの出場を可能にするため、2024年大会はUCIレースクラスを2.1から2.2への変更を行った。

昨年に続き、8日間8ステージ (堺・京都・いなべ・美濃・信州飯田・富士山・相模原・東京) のフルスペック、海外6チーム・国内10チーム計16チームを招聘して開催した。

今年の大会では、若手選手たちの活躍が非常に際立ち、T0Jの「若手選手の登竜門」としての存在感を示すことができた。海外勢では、22歳のマックス・ウォーカー選手 (TEAM BRIDGELANE) が堺と相模原ステージで2勝、19歳のジョシュア・ラドマン選手 (SAINT PIRAN) が美濃ステージで逃げ切り勝利、21歳のニコラス・ヴィノクロフ選手 (ASTANA QAZAQSTAN DEVELOPMENT TEAM) が信州飯田ステージで勝利し、新人賞を獲得。また、日本人選手も寺田吉騎選手 (シマノレーシング) が序盤で新人賞ジャージを着用、最終的にはポイント賞を獲得、さらに同チームの中井唯晶選手が京都ステージで獲得した山岳賞ジャージを守り抜く活躍となった。これらの成績は、彼らのキャリアにも重要なものであり、T0Jが提供するレース強度や難易度、環境が若手選手の競技力向上やステップアップに重要な舞台であることが強調できた大会となった。

東京ステージは、東京都心で開催される唯一のUCI (国際自転車競技連合) 公認レースであり、継続的な開催には多くの課題が存在するが、これまでの実績や関係機関との協力により大会の実現を果たしている。2024年5月に改正された道路交通法により、自転車の「ながら運転」が11月から禁止され罰則化される予定である。規制の強化だけでなく、自転車教室などの関連イベントを通じて安全啓発を実施し、自転車競技の認知度や人気の向上、自転車文化の浸透を促進している。

広報においてはYouTubeによるライブ配信を「BPAJチャンネル」にて実施。YouTubeは、動画サイトとして知名度・利用率が共に高く、無料でいつでも見られることから、自転車競技を観戦したことがない層へのアプローチも容易となる。また、チラシ・ポスター・ガイドブック等の広報物を製作し、各自治体や会場内で広く一般に配布することで、一般の方の自転車ロードレースの認知を広め、気軽に自転車競技を観戦できる環境を整えることで新たなファン獲得が期待できるだけでなく、既存ファンのニーズにも応えることができる。

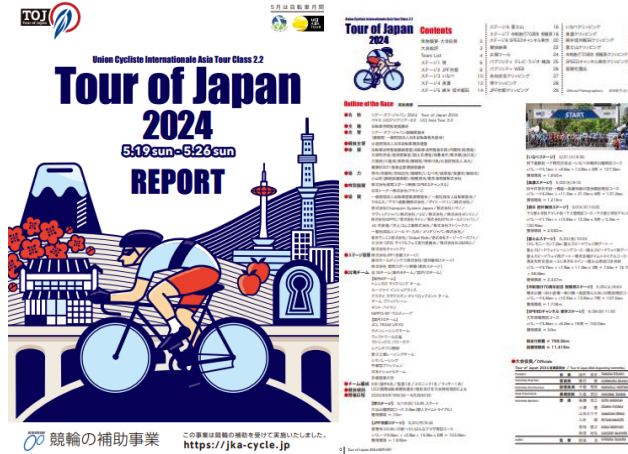
(別紙5)

・ Tour of Japan2024 報告書

(HPURL : https://toj.co.jp/2024-08_bpaj_toj/)

【表面】

【目次】

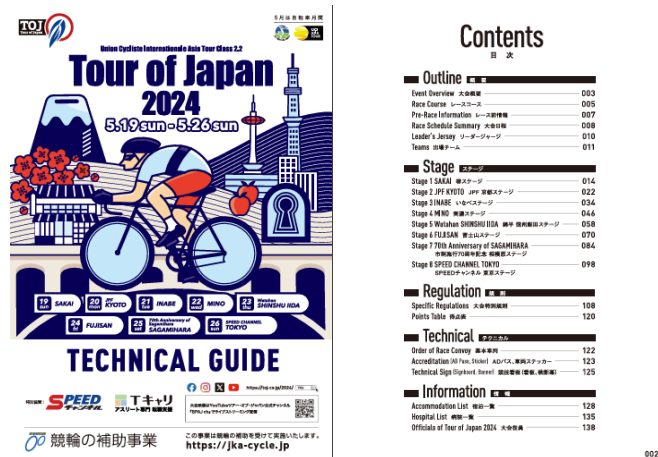


・ Tour of Japan2024 テクニカルガイド

(HPURL : <https://www.mavisports.com/toj/toj2024technicalguide240509.pdf>)

【表面】

【目次】



(2) (1) 以外で当事業において作成したもの
特になし

4 事業内容についての問い合わせ先

団体名：一般財団法人 日本自転車普及協会

(ニホンジテンシャフキュウキョウカイ)

住所：141-0021

東京都品川区上大崎 3-3-1 自転車総合ビル

代表者：会長 小泉 昭男(コイズミ アキオ)

担当部署：事務局 (ジムキョク)

(別紙5)

担当者名 : 事務局次長 村山 吾郎(ムラヤマ ゴロウ)

電話番号 : 03-4334-7952

FAX : 03-4334-7957

E-mail : jifukyo@jifu.jp

URL : <https://www.bpaj.or.jp>